

申14号 新幹線の安全確保に関する緊急申し入れ交渉



**2月5日新花巻駅で所定停止位置を大幅に行き過ぎる事象が発生！
新幹線の安全に関わる重大な事象として会社も受け止め団体交渉！**

1項：機械的・電気的な原因を明らかにすること。また、冬季期間の初列車の安全を確保するため、徐行運転とすること

【事故の原因】

- 気象条件の悪条件が重なり、レールと車輪の摩擦係数による問題
- 電気ブレーキから空気ブレーキへの切替わりが頻繁になりすぎて、ブレーキの組合せの問題によって、ブレーキ力が発揮できない状況になった。

【事故の対策】

- 滑走を完全に防止するのは難しい。滑走した際に、コントロールし所定の停止位置に止められるかの対策を講じる
- E5系にセラジェット噴射機能を搭載し、E6系と同じ制御方法にする変更を行った。
- 4月に同事象に近い、実証実験を行う。

組合 E2系の個別ユニット制御からE5,E6系の一括制御に変えてから、停止信号を超える事象が起きている！ 車両構造の問題ではないか！

会社 1つの原因かもしれないが、制御方法を変えたことが問題とは思っていない。

- 昨年のE6系の滑走の検証が弱かったことを教訓とし、あらゆるパターンで検証することを確認！
- 「危ないと思ったら乗務員の判断で速度を落とすことを否定するものではない」ことを確認！

2項：停車場へ停車する列車に対するDS-ATC現示のトラックパターンを見直すこと

組合 二度と起こさないために車両だけでなく、2重、3重の対策を講じるべきだ！

会社 対策の1つだが、まずは車両側で対策を講じるというのが会社の考えである。

- 停止限界標識を超えてはならないという認識を一致！
- パターン見直しは対立！安全性を向上させるため、車両側対策と同時検討を要請！

3項：E5,E6系のブレーキシステムとセラジェット噴射による制動力を明らかにし、システム変更の変更点も含め現場教育を徹底すること！

- 滑走したらセラジェットが噴射していると思っている人もいる。仕組み・使い方・効果等を教育していくことを確認！
- セラジェット粉末が人体へ与える影響を考慮し、保護具を使用するなど作業者の健康に配慮することを確認！

4項：沿線電話機の設置及び整備することを通じて通信設備を2重系にすること！

- 沿線電話の数は減っているが、連絡手段確保の重要性を確認！
- 整備して、残す沿線電話の位置を運転士・車掌へ周知することを要請！

危険と判断したら徐行し、安全輸送を貫徹しよう！！